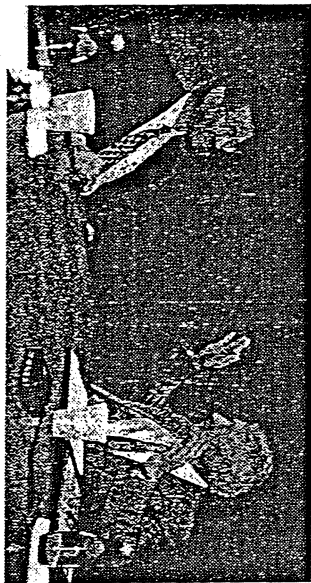


IT革命は第二の 特別対談

それが人類にもたらす恩恵 ルネッサンスです は想像を絶するものになるだろう



二人は米國務省「知的財産ワーキング・グループ」の共同議長をつとめている

この革命的な出来事は、単にテクノロジーや経済の面だけでなく、社会、倫理、法制、宗教、ビジネスなどのあらゆる面で、私たちがこれまで想像すらしていなかったような形で、極めて大きな影響を世界中に及ぼす。これは、実に驚くべき現象である

ボナルド・ヒース
(米國インターネット協会長)

加藤幹之
(富士通ワシントン事務所長)

IT革命におけるアメリカ政府の役割

情報技術（IT）の飛躍的な革新はアメリカ経済の復活の原動力となり、いわゆる「IT（Information Technology）革命」をもたらしました。まず、情報関係の専門家の立場から、ITが果たしてきた役割の意義についてお話ししたいと思います。

ヒース 情報技術の革新の分野で過去十年間にアメリカで起こった変化、そして現在さらに勢いを増しつつある状態は、まさに革命的なものです。特に、ここ一、二年間に非常に多くの新しい展開があり、それが量質にさらに拍車をかけています。大半のアメリカ人は、最高の表現を使ってIT革命のをもたらした好況について語ります。しかし、この革命的な出来事は、単にテクノロジーや経済の面だけではなく、社会、倫理、法制、宗教、ビジネスなどのあらゆる面で、私たちがこれまで想像すらしていなかったような形で、極めて大きな影響を世界中に及ぼしています。これは、実に驚くべき現象です。

加藤 私は過去十年間以上アメリカで働いてきましたが、技術革新を土台にしたこの国のドラマチックな変貌ぶりを目の当たりにすることができて、たいへん運がよかったと思っています。特に、変化に対応する際にアメリカが発揮するエネルギーと柔軟性をじょくりと目撃することができたからです。

私は、IT革命は十八世紀にイギリスで起こった産業革命にも匹敵する出来事ではないかと思えます。いや将来、人類におそらく産業革命以上の恩恵をもたらすことになるのではないのでしょうか。IT革命の巨大な流れは、実はほんの少し前に始まったばかりですから、私はそれが完全に熟成するまでに今後、少なくとも五十年を要すると見ています。

ヒース 同感です。特に情報革命の象徴であるインターネットは、人間の場合で言うなら「幼児期」の段階に入っただけで、いや、まだ「胎児」の段階にあると言っほうが正確かもしれません。加藤 なにしろ、十年前まではインターネットなどと言っても、何のこともかわかる人はほとんどいませんでした。三、四年前でもそうでしたから。

——IT革命は、アメリカの民間企業による長年の情報技術開発への努力の結晶ですが、アメリカ政府の果たした役割もとても大きかったのではありませんか。

ヒース おっしゃるとおりです。アメリカ経済が日本の後塵を拝していた八〇年代にも、アメリカの企業では通常の製造業だけでなく、コンピュータというハイテク技術の分野でも研究開発への努力が進められていました。アメリカはすくなくとも以前から情報化にこだわっていたのです。

ご存じのように、アメリカ政府はそのような状況の下で、重要な政府研究機関が情報を互いに安全かつ迅速に交換できるネットワークを築きあげるといふ決定を下しました。つま